

経営比較分析表（令和5年度決算）

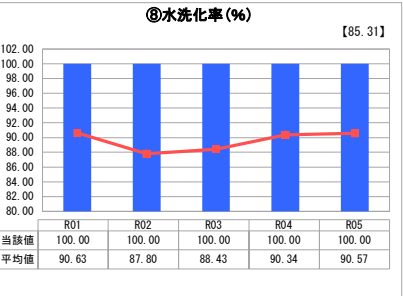
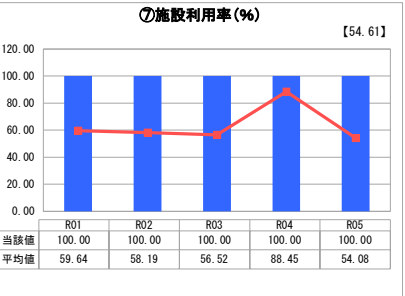
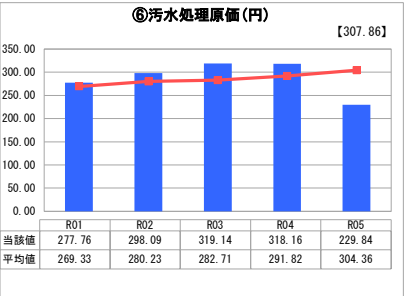
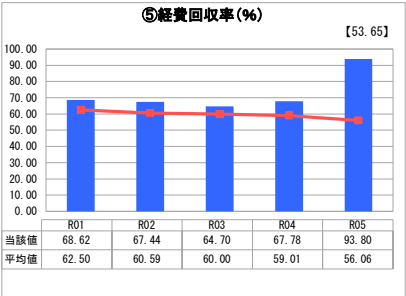
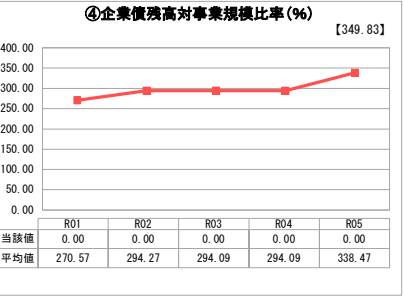
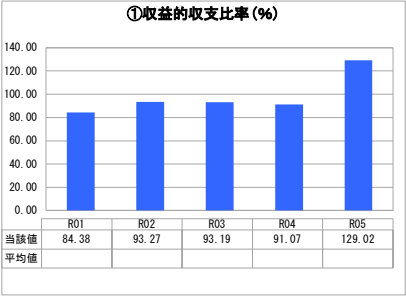
山形県 高島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.18	100.00	3,630

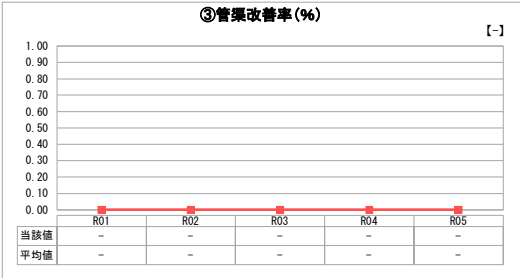
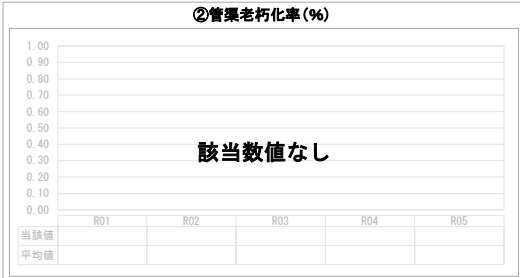
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,681	180.26	120.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,546	170.73	9.06

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は約129%であり、企業価値高対事業規模率は、類似団体を大きく下回っている。前年度と比べて大きく数値が変動しているのは地方公営企業法の適用に伴う切り決算の影響によるものであり、経営状況については前年度と同水準である。引き続き経営の健全化に努める。

2. 老朽化の状況について

町設置浄化槽で最も古いものが平成14年のものであり、設置から20年以上が経過している。年々設置基数が増加し、維持管理費も増加傾向にある。今後も老朽化した浄化槽本体の破損や故障がさらに増えてくると予想されるため、定期的な保守点検や水質調査等を通じて、適切な維持管理を図っていく。

全体総括

浄化槽区域内における町設置浄化槽使用者は、計画の約6割弱であり、今後も整備が必要である。設置基数の増加に伴い使用料収入は増加していくが、維持管理費の増加に加えて老朽化による破損や修繕も増えていくことが想定されることから、今後、経営状況が悪化していくことが懸念される。下水道区域外の重要なインフラの一つである浄化槽の普及を図りつつ、さらなる効率的・計画的な維持管理を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。